



今年 は セザンヌ
ピカソ
ロダン
マティス
が 喜多方へ

喜多方・夢・アートプロジェクト2013
大原美術館所蔵作品展

せびろまの夢

せはセザンヌのセ展

2013 9/7^土 - 10/6^日



本展では喜多方美術倶楽部(*1)からセピロマ会(*2)へと連なる地域に根ざした文化活動を再評価し、アーティストを受け入れ支援してきた喜多方の寛容な風土を再認識するとともに、その21世紀における展開を試みます。

本展の開催にあたって、喜多方と同様に蔵の町として知られ、また町衆の活動が活発な岡山県倉敷市の文化運動の結実たる公益財団法人大原美術館に特別協力を頂きます。セピロマ会の命名の由来となったセザンヌ、ピカソ、ロダン、マティスの作品を一作家ずつ4年間にわたって展示いたします。あわせて大原美術館によるアーティストのレジデンスプログラム(ARKO)経験者の作品を展示するとともに、そのアーティストを喜多方へ招き、喜多方での制作作品を公開いたします。本展がせびろまの夢を現代に繋げます。

「せびろま」ってなんだ？

〔*1〕喜多方美術倶楽部

1918(大正7)年、喜多方の商工業者=町衆たちによって組織された喜多方美術倶楽部は、小川芋銭、石井柏亭などの画家を喜多方に招き、制作支援や作品販売を目的とした画会を開催。1926(大正15)年に終わりを告げるまで会津地方における芸術文化の普及につとめました。

〔*2〕セピロマ会と佐藤恒三

「セピロマ会」は、喜多方美術倶楽部の志を引き継ぎ、彫刻家・佐藤恒三を中心に喜多方の美術愛好家によって1946年(昭和21)に発足。個人の個性を伸ばす絵画教室の他、地域活性化を目的とした活動を通して、窮乏する戦後、若者たちに夢と希望を与えました。佐藤恒三(1904~1965)は、喜多方美術倶楽部の会員であった佐藤彌右衛門の三男として生まれ、東京美術学校彫刻科に学び、在学中より文展・帝展への入選を果たしました。ロダンに傾倒していた恒三は卒業後に渡仏を願いますが戦時下の社会情勢から断念。その西洋美術への憧れが、セザンヌ、ピカソ、ロダン、マティスの頭文字を冠した「セピロマ会」の創設へと至ることとなりました。

ポール・セザンヌと花澤武夫



花澤武夫 <レットグループ(聖アントワヌの誘惑)> 2011年
花澤武夫 1977年 千葉県生まれ
2000年 多摩美術大学油画科卒業

展示作品

ポール・セザンヌ

「風景」 ※白樺美術館より永久寄託
「水浴」
「背後から見た男の裸像と『略奪』のための2つの習作」

花澤武夫

「レットグループ(聖アントワヌの誘惑)」
「ゴールドベルグ(倉敷眺望)」

この他、花澤武夫が喜多方で新たに制作した作品が展示されます。

喜多方・夢・アートプロジェクト 2013

本展覧会と2つのプロジェクトを行います。

喜多方アート暮らし

～喜多方・まちとアートの交流事業～

◇参加アーティスト
上越教育大学伊藤将和研究室
筑波大学宮原克人研究室
東北芸術工科大学チュートリアル
「東北画は可能か？」
福島大学渡邊一研究室
稲垣立男/高橋克幸
千葉清藍 × 古山菜摘

森ものがたり

～喜多方の森林文化を巡る～

◇参加アーティスト
岩間 賢
滝沢達史
中山晴奈
やまもとあまよかしむ
村山修二郎

展示期間 平成25年10月26日(土)～11月10日(日)

展示会場 旧嶋新商店三十八間蔵/大和川酒蔵北方風土館 他

関連イベント

トークイベント「蔵とアートのまちづくり」9月6日(金) 16:00～17:40

◇講演会「喜多方で、倉敷を語る」【16:00～16:40】

講師：大原謙一郎(大原美術館理事)

◇対談「東北学・倉敷学」【16:50～17:40】

大原謙一郎(大原美術館理事) × 赤坂憲雄(福島県立博物館館長)

会場：喜多方蔵の里イベント蔵

定員：100名(先着順) 入場無料。事前にお申し込みが必要です。

お申込み方法：8月6日から受付を開始します。

喜多方市美術館へ電話(0241-23-0404)またはFAX(0241-23-0406)でお申し込みください。

申込項目：代表者氏名、電話番号、申込人数。

トークイベント「アーティストをとおしてみる喜多方」9月7日(土) 14:00～15:30

花澤武夫(喜多方・夢・アートプロジェクト参加作家) × 柳沢秀行(大原美術館学芸課長)

会場：喜多方市美術館

当日観覧券が必要です。申し込み不要。

記念講演会「絵画の冒険 大原美術館の作品たち」9月8日(日) 13:30～15:00

講師：高階秀爾(大原美術館館長)

会場：大和川酒蔵北方風土館昭和蔵(駐車場：大和川酒蔵北方風土館周辺に各所あり)

定員：200名(先着順) 入場無料。事前にお申し込みが必要です。

お申込み方法：8月6日から受付を開始します。

喜多方市美術館へ電話(0241-23-0404)またはFAX(0241-23-0406)でお申し込みください。

申込項目：代表者氏名、電話番号、申込人数。

フォーラム「地域における美術館という装置」10月6日(日) 13:30～15:30

◇報告1「大原美術館の社会連携」【13:30～14:00】

講師：柳沢秀行(大原美術館学芸課長)

◇報告2「東京都美術館 × 東京藝術大学 とびらプロジェクトがはじめたこと」【14:00～14:30】

講師：伊藤達矢(東京藝術大学特任助教 とびらプロジェクトマネージャ)

◇ディスカッション「地域における美術館という装置」【14:30～15:30】

出演者：柳沢秀行、伊藤達矢

会場：喜多方プラザ文化センター 小ホール

入場無料。申し込み不要。

開館時間 午前10時～午後6時(最終入館は午後5時30分)

休館日 毎週水曜日

観覧料	一般	大・高校生	小・中学生
	500円	300円	200円
20名以上の団体割引料金	400円	250円	150円



喜多方市美術館

〒966-0094 喜多方市字押切2-2
http://www.city.kitakata.fukushima.jp/bijyutsukan/
tel. 0241-23-0404 fax. 0241-23-0406

交通のご案内
JR喜多方駅から約1.5km 徒歩20分 タクシー5分
磐越自動車道会津若松ICから約19km 車で30分
磐越自動車道会津下ICから約20km 車で30分
次回展覧会のお知らせ
高橋まゆみ人形展
—近くにある大切なもの—
2013年10月19日(土)～11月24日(日)

- 主催 喜多方・夢・アートプロジェクト運営委員会
運営委員会構成団体：喜多方市/喜多方市教育委員会/喜多方観光協会/喜多方市ふるさと振興株式会社/会津喜多方商工会議所/きたかた商工会/会津いいで農業協同組合
会津北部森林組合/喜多方蔵の会/喜多方市行政市長会/喜多方市校長会
- 特別協力 公益財団法人大原美術館
- 協力 福島県立博物館/会津大学短期大学部/喜多方市文化協会/会津喜多方漆器商工協同組合/蔵のまち・アートぶらりー実行委員会
NPO法人喜多方市民活動サポートネットワーク/NPO法人まちづくり喜多方/NPO法人喜多方市グリーンツーリズムサポートセンター/喜多方市立図書館
- 後援 福島民報社/福島民友新聞社/朝日新聞福島総局/読売新聞東京本社福島支局/毎日新聞福島支局/産経新聞福島支局/河北新報社/NHK 福島放送局/福島テレビ
福島中央テレビ/福島放送/テレビユー福島/ラジオ福島/ふくしまFM/喜多方シイエフエム